

問題発見・解決力を伸ばす	履修年次	2	
	単位	2	
関 和之	配当期	後	
	授業方法	演習/ライブ	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>「問題発見・解決力」を向上させるには、問題解決手法に関する知識はもちろんのこと、状況を客観的に観察し論理的に分析する力、偏りがない柔軟な思考力や創造性、何度でも行きつ戻りつを繰り返しながら問題に立ち向かう集中力と粘り強さが必要となる。</p> <p>こうした総合的な「問題発見・解決力」を身につけるため、知識や手法の理解だけではなく、演習を通じて活用方法を学ぶ。またグループでものごとを考え、まとめ上げ、発表するといった活動も行う。</p> <p>この科目を履修し、「問題発見・解決力」(論理的な思考や創造性、粘り強さ)を身につけることで、自らの職業人生を切りひらく礎を築くことができる。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の状況下で、論理的に問題を見つけ、原因を探索することができる。</li> <li>・創造性や柔軟性を持って課題を設定し、具体的な方策を検討し、他者を納得させる説明をすることができる。</li> <li>・問題発見・解決の手法について基本的な知識を持ち、活用することができる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>定期試験、課題提出、授業出席により総合的に評価する。定期試験において知識の確認を行う。課題レポートにおいて個人の問題発見・解決力の向上の確認を行う。授業出席では、授業中の発言やグループへの貢献度、発表時の説得力などを評価する。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	問題とは何か 問題解決とは何か	8	発生型問題の解決演習
2	問題解決と問題発見	9	発生型問題の解決方策の発表とフィードバック
3	問題解決と論理性	10	創造型問題と課題設定
4	問題発見ツールと活用	11	課題設定のためのフレームワーク
5	発散思考と収束思考	12	創造型問題の解決演習
6	問題の種類 問題と課題の違い	13	創造型問題の解決方策の発表とフィードバック
7	発生型問題の解決 ステップ	14	1-13 週のまとめ